

3年保健LHR より
性教育講演会
「大切なあなたへ～命の生まれる現場から伝えたいこと～」

平成26年9月30日（火）に岡山中央病院の産婦人科医師の金重恵美子先生をお迎えし3年生を対象に実施しました。講師の金重先生は本校の卒業生でいらっしゃいます。妊娠・出産・性行為感染症等の生と性に関する知識を得ただけではなく、卒業後の将来設計～ライフプラン～について考えさせられるご講演でしたのでご紹介します。司会・講師紹介・謝辞を、3年保健委員が担当しました。

【感想より一部抜粋】



「この時期に性教育の講演がある意味がだんだんと理解できた。相手を想うことは、今の時期に一番壊れやすく一番軽んじられてしまうことだと思う。これから先、どのような人間関係の変化があっても屈せず、流されず前に進むことを新たに決意した。」

「自分の将来を考える良い機会になりました。特に女性としてのライフプランに興味を持ちました。子どもは欲しいけれど仕事を休みたくはないのでどうするのか今はわかりませんが真剣に考えたいと思いました。」



「今日の講演でもっとも心に残っているのは、月経についてのことです。私は毎月月経痛が本当にひどくて入試にかぶったら嫌だなと思っていました。なるべく早く対処できるようにしたいです。また、大学生になると今までよりも自由が増える分、自分の行動に責任を持たないといけないので今日のお話のことを忘れないようにしたいです。」



「今日の講演を聞いて自分の行動に責任を持つことと相手の気持ちをしっかり考えることを学ぶことができました。インターネット等の誤った情報などに気をつけて、自分の将来そして相手の将来を考えたライフプランを立てたいと思いました。」



「愛するということは『愛』だけでなく『知識』が必要だということに気づき奥の深さを実感した。大人の階段をのぼっていく私たちは足を踏み外さないよう、正しい知識を学んでいきたい。」

「もっと自分の体と向きあわなければいけないと感じた。自分はもちろん、パートナー、将来の子どもに関わることだから真剣に考えたい。先生は岡山大学医学部を卒業し、産婦人科のご専門ということで私が今後進みたい道を進まれた方だったため、お話にとっても興味を持ちました。自分の進路への気持ちもより強くなりました。」

「加齢が妊娠・出産に与える影響や性感染症の恐ろしさなど自分があまり知らないことを知ることができて良かった。特に性感染症の恐ろしさが印象に残った。赤ちゃんができなくなったり、赤ちゃんに感染させてしまったり、流産や早産になったりなど、本当に恐ろしいので気をつけたいと思う。また、安易な考えで人工妊娠中絶をしてはいけないことも分かった。産婦人科医師はとてもたいへんな仕事だと思うので尊敬の念を抱いた。」

↓保健委員が準備中です★お楽しみに↓

1年保健LHR
11月5日（水） テーマ「睡眠」
武道場にて

2年保健LHR
11月11日（火） テーマ「歯」
第一体育館にて